

コロナ禍における道德教育の実態

に関する全国調査の結果と分析（1）

—統計的分析—

押谷由夫(武庫川女子大学大学院)

矢作信行(武庫川女子大学大学院・大学院生)

齋藤道子(武庫川女子大学大学院・大学院生)

谷山優子(武庫川女子大学大学院・大学院生)

木崎ちのぶ(武庫川女子大学大学院・大学院生)

小山久子（武庫川女子大学大学院・大学院生）

本研究は科学研究（課題番号17H02706）の一部です。

1. 研究の動機

- 本研究グループでは、「特別の教科 道徳」が設置され、小学校、中学校において全面実施されるまでの2017年度から2019年度の3年度間において、学校現場でどのように取り組まれているかを、全国調査を基に明らかにしてきた。結果については、その都度本学会で発表してきた。
- そのような中、2019年末から世界的なコロナ禍に見舞われた。学校現場は、現在もその対応に大変な日々を過ごされている。そこで、今までの調査の延長として、このコロナ禍において、道徳教育がどのように展開されているのかを明らかにしたいと考えた。

2. 本研究の目的

本研究は、コロナ禍において、いままで熱心に取り組まれてきた道徳教育が、どのような状態になっているのかを明らかにし、課題とその対応について探究することを目的とする。

3. 調査の方法

- ・調査対象校は、2017年度から3年間継続して道徳教育調査をお願いした学校と同一の学校とした。調査対象校の選定は『全国学校総覧 2017年度』（原書房）を使用した。
全国47都道府県の全部の小学校・中学校から、およそ1割の学校を無作為に抽出した。その中で2020年度段階で、統廃合の学校を確認し、廃校は除外した。
- ・発送学校数は、小学校2154校、中学校1154校、小中一貫校・義務教育学校8校で、合計3316校であった。
- ・回収学校数は小学校554校、中学校306校、小中一貫・義務教育学校8校、その他2校で、合計870校。回収率は、26.2%であった。
- ・調査期日は、2021年2月～3月（2020年度の実態を聞いています）
- ・学校種別および地域別のサンプルは表の通りである。

学校種

全体	小学校	中学校	小、中一貫校へ 義務教育学校	不明
870	554	306	8	2
100	63.7	35.2	0.9	0.2

(上は実数、下は%)

学校の地域

全体	北海道	東北	関東	甲信越	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	不明
870	55	93	204	49	24	86	134	76	44	91	13	1
100	6.3	10.7	23.4	5.6	2.8	9.9	15.4	8.7	5.1	10.5	1.5	0.1

4 調査の結果と分析

I. コロナ禍における道徳教育について

(1) コロナ禍における道徳教育の意識 (表1)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	2 0 0 人 以 下	7 0 1 人 以 上	北 海 道 ・ 東 北	関 東 ・ 甲 信 越	北 陸 ・ 中 部	近 畿	中 国 ・ 四 国	九 州 ・ 沖 縄
とても意識した	145 16.9	97 17.5	48 15.7	32 15	23 20.9	22 15.1	42 16.6	18 16.4	22 16.4	17 14.2	25 24
まあまあ意識した	317 36.9	211 38.2	106 34.8	84 39.4	38 34.5	52 35.6	99 39.1	43 39.1	48 35.8	45 37.5	36 34.6
少し意識した	209 24.4	136 24.6	73 23.9	55 25.8	21 19.1	32 21.9	54 21.3	25 22.7	41 30.6	35 29.2	24 23.1
あまり意識しなかった	146 17	88 15.9	58 19	34 16	23 20.9	34 23.3	37 14.6	22 20	16 11.9	22 18.3	15 14.4
ほとんど意識しなかった	41 4.8	21 3.8	20 6.6	8 3.8	5 4.5	6 4.1	21 8.3	2 1.8	7 5.2	1 0.8	4 3.8

- 全体で見ると、「とても意識した」16.9%、「まあまあ意識した」36.9%、「少し意識した」24.4%で、意識したと答えた学校が78.2%であった。
- この傾向は小学校と中学校ではあまり差がなかったが、わずかに小学校の方が高かった。
- 学校規模別では「とても意識した」学校の割合が、701人以上の学校が200人以下の学校より6割高くなっている。
- 地域別では、九州・沖縄が「とても意識した」学校の割合が他の地域に比べて8～10割高くなっている。

(2) コロナ禍で感じる今まで取り組んだ道德教育の成果 (表2)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	2 0 0 人 以 下	7 0 1 人 以 上	北 海 道 ・ 東 北	関 東 ・ 甲 信 越	北 陸 ・ 中 部	近 畿	中 国 ・ 四 国	九 州 ・ 沖 縄
とても感じた	55 6.4	41	14	13	6	8	16	8	8	9	7
だいぶん感じた	310 36.3	208	102	90	32	62	86	45	36	39	45
少し感じた	362 42.4	226	136	81	45	56	106	41	64	58	41
あまり感じなかった	117 13.7	68	49	25	25	18	40	16	23	13	8
ほとんど感じなかった	10 1.2	7	3	2	2	2	4	-	1	1	2
		1.3	1	0.9	1.8	1.4	1.6	-	0.8	0.8	1.9

- ・全体では、「とても感じる」6.4%、「だいぶん感じる」36.3%、「少し感じる」42.4%と、**肯定的に答えた学校が85%**になる。
- ・小学校と中学校との比較では、**小学校が「とても感じる」で3割、「だいぶん感じる」で4割高くなっている。**
- ・学校規模別では「だいぶん感じる」が701人以上の学校より**200人以下の学校が14割高い。**
- ・地域別では、「だいぶん感じた」で比較すると、**北海道・東北、北陸・中部、九州・沖縄が40%を超えている。**

(3) コロナ禍で休校していた時、「特別の教科 道徳」についてどう対応したか (表3)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
具体的な課題を示した	154 18%	99	55	26	26	13	63	20	31	19	9
具体的な課題は示さなかったが意識するように働きかけた	309 36.1%	203	106	75	36	56	81	34	50	39	53
何も触れなかった	393 45.9%	249	144	111	48	77	108	56	53	61	42
		45.2%	47.2%	52.4%	43.6%	52.7%	42.9%	50.9%	39.6%	51.3%	40.4%

- ・全体で見ると、「具体的な課題を示した」が18%、「具体的な課題は示さなかったが意識するように働きかけた」36.1%、「何も触れなかった」45.9%であった。
- ・小学校と中学校ではほとんど差がない。
- ・学校規模別では、「具体的な課題を示した」が200人以下の学校に比べて701人以上の学校が11.3%高い。
- ・地域別では、「具体的な課題を示した」で比較すると、関東・甲信越、近畿が高く、約25%の学校において取り組んでいる。

(4) 休校中の「特別の教科 道徳」の補充の実態 (表4)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
全部補充した	314 36.8	241 43.9	73 24	99 47.4	34 31.2	75 51.4	55 22	44 40	50 37.3	58 48.7	35 34
一部補充した	304 35.6	197 35.9	107 35.2	67 32.1	41 37.6	37 25.3	112 44.8	33 30	45 33.6	38 31.9	44 42.7
休校中の課題を出していたので補充しなかった	83 9.7	43 7.8	40 13.2	11 5.3	9 8.3	6 4.1	35 14	8 7.3	22 16.4	8 6.7	5 4.9
休校中の課題も出さなかったし補充もしなかった	152 17.8	68 12.4	84 27.6	32 15.3	25 22.9	28 19.2	48 19.2	25 22.7	17 12.7	15 12.6	19 18.4

- 全体では、「全部補充した」が36.8%、「一部補充した」35.6%で、72.4%の学校で補充されている。
- 校種別で小学校と中学校で「全部補充した」を比較すると、小学校が43.9%、中学校は24%と大きな差がある。
- 学校規模別では、「全部補充した」学校が200人以下の学校で47.4%、701人以上の学校では31.2%となっている。
- 地域別では「全部補充した」で比較すると、北海道・東北と中国・四国地方においては半数前後の学校において行われている。

(5) 学校再開後の「特別の教科 道徳」の授業は規定通り週1回確保されたか (表5)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
週1回の授業を行った	594 69.2	405 73.2	189 62	159 75	78 70.9	106 72.1	162 64	80 72.7	85 63.4	96 80.7	74 71.2
ほぼ週1回の授業を行った	218 25.4	126 22.8	92 30.2	43 20.3	30 27.3	39 26.5	67 26.5	25 22.7	42 31.3	18 15.1	28 26.9
週1回は少しできなかった	34 4	16 2.9	18 5.9	8 3.8	1 0.9	2 1.4	17 6.7	4 3.6	5 3.7	3 2.5	2 1.9
週1回はかなりできなかった	12 1.4	6 1.1	6 2	2 0.9	1 0.9	- -	7 2.8	1 0.9	2 1.5	2 1.7	- -

- 全体では、「週1回の授業を行った」が69.2%、「ほぼ週1回の授業を行った」25.4%で95%の学校でほぼ通常通りに授業が行われている。
- 小学校と中学校で比較すると、「週1回の授業を行った」学校が小学校で73.2%、中学校が62%と11%の開きがある。
- 学校規模別では「週1回の授業を行った」で比較すると、200人以下の学校が75%であるのに対して701人以上の学校では70.9%になっている。
- 地域別では、「週1回の授業を行った」で比較すると中国・四国が80.7%と高い。

(6) 学校が再開されて道德の授業における子どもたちの様子は以前と比べてどうか (表6)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	2 0 0 人 以 下	7 0 1 人 以 上	北 海 道 ・ 東 北	関 東 ・ 甲 信 越	北 陸 ・ 中 部	近 畿	中 国 ・ 四 国	九 州 ・ 沖 縄
活発に話してくれるようになった	65 7.6	42 7.7	23 7.6	16 7.8	8 7.3	17 11.7	21 8.4	5 4.5	5 3.8	8 6.8	9 8.7
集中してくれるようになった	111 13.1	60 10.9	51 16.9	24 11.7	12 10.9	17 11.7	42 16.7	13 11.8	17 12.8	16 13.7	8 7.8
以前とあまり変わらない	651 76.6	429 78.3	222 73.5	163 79.1	86 78.2	107 73.8	183 72.9	88 80	105 78.9	91 77.8	84 81.6
あまり意欲が感じられなかった	22 2.6	17 3.1	5 1.7	3 1.5	4 3.6	4 2.8	4 1.6	4 3.6	6 4.5	2 1.7	2 1.9
まったく意欲が感じられなかった	1 0.1	-	1 0.3	-	-	-	1 0.4	-	-	-	-

- ・全体で見えていくと、「活発に話すようになった」が7.6%、「集中してくれるようになった」が13.1%、「以前とあまり変わらない」が76.6%で、合計すると97.3%となり、ほとんどの学校において従来通りに子どもたちは授業に臨んでくれていると捉えている。
- ・学校種別、学校規模別比較においてはあまり差はない。
- ・地域別では「活発に話すようになった」が北海道・東北で11.7%、「集中してくれるようになった」では関東・甲信越が16.7%と高くなっている。

(7) コロナ禍により道徳の授業で従来通りできなくなったことはあるか (表7)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
たくさんある	38 4.4	25 4.5	13 4.3	2 0.9	6 5.5	3 2	17 6.7	8 7.3	1 0.7	5 4.2	4 3.9
まあまあある	294 34.3	192 34.8	102 33.4	66 31.1	37 33.6	41 27.9	105 41.5	33 30	45 33.6	35 29.4	36 35
少しある	246 28.7	157 28.4	89 29.2	61 28.8	34 30.9	41 27.9	70 27.7	29 26.4	42 31.3	39 32.8	29 28.2
あまりない	170 19.8	107 19.4	63 20.7	53 25	23 20.9	35 23.8	41 16.2	23 20.9	31 23.1	26 21.8	17 16.5
ほとんどない	109 12.7	71 12.9	38 12.5	30 14.2	10 9.1	27 18.4	20 7.9	17 15.5	15 11.2	14 11.8	17 16.5

- ・ コロナ禍になって道徳の授業でできなくなったことはあるかの設問に対して、できなくなったことがある場合どのようなことかを自由記述してもらっている。それらについては、別に分析する。ここでは数字のみを取り上げる。
- ・ 全体では、「たくさんある」が4.4%、「まあまあある」34.3%、「少しある」28.7%で、合計すると67.7%になっている。
- ・ 校種別では、ほとんど差はない。
- ・ 学校規模別では「たくさんある」と答えた学校が200人以下の学校では0.9%に対し、701人以上の学校は5.5%になっている。
- ・ 地域別では、「たくさんある」と答えた学校が、近畿では0.7%、北海道・東北は2%になっている。

(8) この1年を振り返り、道徳教育、「特別の教科 道徳」の大切さや重要性を感じたか (表8)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	2 0 0 人 以 下	7 0 1 人 以 上	北 海 道 ・ 東 北	関 東 ・ 甲 信 越	北 陸 ・ 中 部	近 畿	中 国 ・ 四 国	九 州 ・ 沖 縄
よくあった	284 33.6	196 36	88 29.2	63 30.4	43 39.4	39 26.9	87 34.8	32 29.6	50 37.6	39 33.1	40 39.6
ときどきあった	315 37.2	195 35.8	120 39.9	83 40.1	40 36.7	60 41.4	94 37.6	47 43.5	39 29.3	48 40.7	32 31.7
少しあった	174 20.6	110 20.2	64 21.3	48 23.2	16 14.7	35 24.1	47 18.8	19 17.6	28 21.1	23 19.5	23 22.8
あまりなかった	54 6.4	33 6.1	21 7	12 5.8	8 7.3	7 4.8	15 6	9 8.3	13 9.8	5 4.2	5 5
ほとんどなかった	19 2.2	11 2	8 2.7	1 0.5	2 1.8	4 2.8	7 2.8	1 0.9	3 2.3	3 2.5	1 1

- ・この設問に対しては、自由記述の欄も設けている。その分析は別に行う。ここでは数値のみを取り上げる。
- ・全体では、「よくあった」が33.6%、「ときどきあった」37.2%、「少しあった」が20.6%で、肯定的に回答した学校が、91.4%である。
- ・校種別では、大きな差はないが、「よくあった」は小学校36%に対して中学校29.2%であった。
- ・学校規模別では、「よくあった」を比較すると、200人以下の学校が30.4%に対し、701人以上の学校が39.4%であった。
- ・地域別では、「よくあった」で比較すると、九州・沖縄が39.2%、近畿が37.6%になっている

Ⅱ. 学校教育全体で取り組む道徳教育について

(1) 昨年度の道徳の授業と比べて今年度はどうか (表9)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・ 東北	関東・ 甲信越	北陸・ 中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄
重視されている	363 42.3	246 44.5	117 38.2	92 43.2	43 39.1	70 47.6	100 39.5	46 41.8	44 32.8	56 46.7	52 50
まあまあ重視されている	427 49.7	272 49.2	155 50.7	110 51.6	51 46.4	72 49	125 49.4	55 50	74 55.2	55 45.8	50 48.1
あまり重視されていない	62 7.2	31 5.6	31 10.1	11 5.2	15 13.6	4 2.7	24 9.5	9 8.2	14 10.4	9 7.5	2 1.9
重視されていない	7 0.8	4 0.7	3 1	- -	1 0.9	1 0.7	4 1.6	- -	2 1.5	- -	- -

- ・全体で見ると、「重視されている」が42.3%、「まあまあ重視されている」49.7%で92%になっている。
- ・2019年度調査と比較すると「重視されている」と答えた学校の割合が7.3%増えている。
- ・校種別で見ると、「重視されている」学校の割合を見ると小学校が44.5%、中学校が38.2%で、6.3%の開きがある。
- ・学校規模別では、「重視されている」学校の割合が、200人以下の学校が43.2%に対し、701人以上の学校は39.1%。一方「あまり重視されていない」では、200人以下の学校が5.2%に対し、701人以上の学校は13.6%になっている。
- ・地域別では、「重視されている」で比較すると、九州・沖縄が50%、北海道・東北が47.6%、中国・四国が46.7%と半数近くになっている。

(2) 学校全体で道徳教育を推進するための組織は機能したか (表10)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
機能した	150 17.5	92 16.7	58 19	33 15.6	20 18.2	26 17.7	44 17.4	19 17.4	26 19.5	20 16.8	18 17.3
まあまあ機能した	391 45.7	240 43.6	151 49.5	97 45.8	52 47.3	78 53.1	111 43.9	40 36.7	60 45.1	53 44.5	51 49
あまり機能しなかった	202 23.6	143 26	59 19.3	51 24.1	29 26.4	28 19	70 27.7	31 28.4	27 20.3	30 25.2	20 19.2
ほとんど機能しなかった	37 4.3	25 4.5	12 3.9	5 2.4	8 7.3	3 2	14 5.5	3 2.8	11 8.3	2 1.7	4 3.8
組織を作っていない	76 8.9	51 9.3	25 8.2	26 12.3	1 0.9	12 8.2	14 5.5	16 14.7	9 6.8	14 11.8	11 10.6

- ・学校全体で取り組む道徳教育の組織を作っていないと回答した学校が8.9%であった。学校規模別できると701人以上の学校ではわずかに0.9%である。2019年度と比較すると作っていないと回答した学校が38%であったことから、コロナ禍において積極的に道徳教育推進の組織を作って取り組まれていることがわかる。
- ・その組織が実際に機能したかを尋ねると、全体で、「機能した」が17.5%、「まあまあ機能した」が45.7%であり、63.2%の学校において機能していると感じていることになる。
- ・校種別では、中学校の方が小学校より「機能している」で2.3ポイント、「まあまあ機能している」で5.9ポイント高くなっている。
- ・学校規模別では、701人以上の学校の方が「機能した」「まあまあ機能した」と回答した学校の割合が200人以下の学校より若干高くなっている。
- ・地域別では、近畿が「機能した」が19.5%と高いが「ほとんど機能しなかった」は8.3%と一番高くなっている。

(3) 全体計画に書かれている内容の達成度 (表11)

	回答														
	だいたい達成されている			まあまあ達成されている			あまり達成されていない			見直しが必要である			全体計画に示していない		
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1. 「特別の教科 道徳」の指導	330 38.7	233 42.3	97 32.1	477 55.9	291 52.8	186 61.6	38 4.5	23 4.2	15 5	3 0.4	1 0.2	2 0.7	5 0.6	3 0.5	2 0.7
2. 各学年の道徳教育	308 36.1	218 39.6	90 29.7	500 58.5	304 55.2	196 64.7	34 4	21 3.8	13 4.3	9 1.1	6 1.1	3 1	3 0.4	2 0.4	1 0.3
3. 各学級の道徳教育	286 33.5	205 37.3	81 26.7	516 60.5	312 56.7	204 67.3	34 4	23 4.2	11 3.6	8 0.9	5 0.9	3 1	9 1.1	5 0.9	4 1.3
4. 各教科の特質に応じた道徳教育	107 12.5	85 15.4	22 7.3	510 59.7	344 62.4	166 54.8	201 23.5	105 19.1	96 31.7	27 3.2	14 2.5	13 4.3	9 1.1	3 0.5	6 2
5. 特別活動における道徳教育	137 16	96 17.4	41 13.5	533 62.4	347 63	186 61.4	148 17.3	92 16.7	56 18.5	27 3.2	14 2.5	13 4.3	9 1.1	2 0.4	7 2.3
6. 総合的な学習の時間における道徳教育	95 11.1	69 12.5	26 8.6	512 60	336 61.1	176 58.1	206 24.2	128 23.3	78 25.7	31 3.6	14 2.5	17 5.6	9 1.1	3 0.5	6 2
7. 日常生活における道徳教育	237 27.8	172 31.3	65 21.5	521 61.1	330 60	191 63	70 8.2	38 6.9	32 10.6	16 1.9	6 1.1	10 3.3	9 1.1	4 0.7	5 1.7
8. 家庭との連携による道徳教育	79 9.3	63 11.4	16 5.3	406 47.5	279 50.6	127 41.9	300 35.1	178 32.3	122 40.3	50 5.9	25 4.5	25 8.3	19 2.2	6 1.1	13 4.3
9. 地域との連携による道徳教育	47 5.5	37 6.7	10 3.3	309 36.3	223 40.6	86 28.4	382 44.8	234 42.6	148 48.8	87 10.2	44 8	43 14.2	27 3.2	11 2	16 5.3
10. 重点目標の指導	206 24.2	151 27.5	55 18.2	521 61.4	337 61.3	187 61.7	95 11.1	50 9.1	45 14.9	17 2	8 1.5	9 3	11 1.3	4 0.7	7 2.3

- 全体で比較すると、「だいたい達成されている」と回答した学校の割合が高いのは、「特別の教科 道徳」の指導が38.7%、各学年の道徳教育が36.1%、各学級の道徳教育が33.5%になっている。「まあまあ達成されている」を加えると、「特別の教科 道徳」が94.6%、各学年の道徳教育が94.6%、各学級の道徳教育84%になる。
- 学校種で比較すると、「だいたい達成されている」ではいずれも小学校の方が10ポイント以上高くなっていて、「まあまあ達成されている」を加えると、あまり差はみられない。
- 2019年度と比較すると、この3項目についてはほとんど変わっていないが若干増えている。コロナ禍においても道徳教育が熱心に取り組まれていることがわかる。
- 「あまり達成されていない」を全体で比較すると、「地域との連携による道徳教育」が44.8%、「家庭との連携による道徳教育」が35.1%と特に高くなっている。さらに、「総合的な学習の時間における道徳教育」24.2%、「各教科の特質に応じた道徳教育」23.5%となっており、これらが今後の課題として捉えられる。

(4) コロナ禍での全体計画の見直し (表12)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
全体的に見直した	56 6.8	34 6.4	22 7.6	9 4.5	16 15.1	7 4.9	21 8.7	10 9.8	9 7.1	8 6.8	1 1
だいぶん行った	61 7.5	36 6.8	25 8.7	12 6	10 9.4	7 4.9	20 8.3	6 5.9	11 8.7	7 6	9 9.3
ある程度行った	263 32.2	169 31.9	94 32.6	56 27.9	29 27.4	46 32.4	92 38.2	29 28.4	39 30.7	34 29.1	28 28.9
少し行った	141 17.2	91 17.2	50 17.4	43 21.4	23 21.7	20 14.1	34 14.1	19 18.6	23 18.1	23 19.7	23 23.7
行っていない	297 36.3	200 37.7	97 33.7	81 40.3	28 26.4	62 43.7	74 30.7	38 37.3	45 35.4	45 38.5	36 37.1

- ・全体で見ると、「全体的に見直した」が6.8%、「だいぶん行った」が7.5%、「ある程度行った」32.2%、「少し行った」17.2%、「行っていない」は36.3%になっている。
- ・「特別の教科 道徳」が小学校、中学校共に全面実施された2019年度調査では、全体的に見直したが28%、「行っていない」が6%であった。コロナ禍における今年度は昨年度の全体計画を継続することを基本として、コロナ禍対応も含めた部分的な見直しが行われていたととらえることができる。
- ・校種別では、ほとんど変わらない。
- ・学校規模別では、200人以下の学校より701人以上の学校が、「全体的に見直した」で10.6%、「だいぶん行った」で3.4%高い。
- ・地域別では、「全体的見直した」で比較すると、北陸・中部が9.8%、関東・甲信越が8.7%である。

IV. 「特別の教科 道徳」の年間指導計画について

(1) コロナ禍の今年度「特別の教科 道徳」の年間指導計画をどの程度変更したか (表13)

	回答														
	簡略になった			変わらない			詳しくなった			新しく入れた			書いていない		
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1. 基本的発問	66 7.7	35 6.4	31 10.2	651 76.1	424 77	227 74.7	49 5.7	33 6	16 5.3	4 0.5	4 0.7	-	85 9.9	55 10	30 9.9
2. 板書計画	48 5.6	21 3.8	27 8.9	605 71	394 71.9	211 69.4	41 4.8	31 5.7	10 3.3	2 0.2	1 0.2	1 0.3	156 18.3	101 18.4	55 18.1
3. 事前の指導に関すること	63 7.4	31 5.6	32 10.5	632 74	416 75.6	216 71.1	36 4.2	27 4.9	9 3	5 0.6	4 0.7	1 0.3	118 13.8	72 13.1	46 15.1
4. 事後の指導に関すること	58 6.8	28 5.1	30 9.9	633 74.1	416 75.6	217 71.4	45 5.3	33 6	12 3.9	4 0.5	3 0.5	1 0.3	114 13.3	70 12.7	44 14.5
5. 家庭との連携に関すること	86 10.1	53 9.7	33 10.9	608 71.3	399 72.7	209 68.8	50 5.9	34 6.2	16 5.3	6 0.7	4 0.7	2 0.7	103 12.1	59 10.7	44 14.5
6. 地域との連携に関すること	107 12.5	66 12	41 13.5	600 70.3	394 71.6	206 67.8	32 3.7	22 4	10 3.3	1 0.1	-	1 0.3	114 13.3	68 12.4	46 15.1
7. 各教科等との関連について	71 8.3	45 8.2	26 8.6	668 78.3	429 78.1	239 78.6	72 8.4	51 9.3	21 6.9	7 0.8	4 0.7	3 1	35 4.1	20 3.6	15 4.9

- ・全体で見ると、各項目において「変わらない」が70～80%以内である。
- ・2019年度調査と比べると、「変わらない」が全項目において11～34%増えている
- ・学校種で比較すると「各教科等との関連について」以外はすべて小学校4割ほど高くなっている。
- ・「簡略になった」を見てみると「地域との連携に関すること」が12.5%、「家庭との連携に関すること」が10.1%になっている。
- ・「家庭との連携に関すること」は「詳しくなった」も5.9%で一番高くなっている

(2) コロナ禍に直接かわる教材を取り入れたか（副教材も含めて） (表14)

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
入っていない	515	357	158	138	62	103	145	57	68	81	67
	60	64.6	51.8	64.8	56.4	70.1	57.3	51.8	50.7	67.5	65
1～2教材入れている	332	191	141	75	45	43	105	51	64	37	35
	38.7	34.5	46.2	35.2	40.9	29.3	41.5	46.4	47.8	30.8	34
3教材以上入れている	11	5	6	-	3	1	3	2	2	2	1
	1.3	0.9	2	-	2.7	0.7	1.2	1.8	1.5	1.7	1

- ・「入っていない」が60%、「1～2教材入れている」が38.7%、3教材以上入れているが1.3%であった。
- ・校種別では中学校の方が小学校より「入れている」学校の割合が13.9%高い。
- ・学校規模別では、200人以下の学校より701人以上の学校が、「入れている」学校の割合が8.4%高い。
- ・地域別では、「入れている」学校の割合が近畿が一番多く49.3%、次いで北陸・中部で48.2%となっている。

(3) 重点的に指導した内容項目の効果 (表15)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
計画的に取組み効果も感じられた	375 43.9	242 44	133 43.8	104 49.1	42 38.5	76 51.7	99 39.1	55 50.5	55 41.7	50 42	45 43.7
計画的に取り組んだがあまり効果的ではなかった	150 17.6	103 18.7	47 15.5	27 12.7	22 20.2	19 12.9	41 16.2	19 17.4	29 22	21 17.6	23 22.3
あまり計画的には取り組めなかったが効果的だった	219 25.6	143 26	76 25	62 29.2	20 18.3	37 25.2	72 28.5	22 20.2	27 20.5	36 30.3	26 25.2
計画的に取り組めなかったし効果も感じられなかった	74 8.7	46 8.4	28 9.2	15 7.1	18 16.5	13 8.8	24 9.5	11 10.1	14 10.6	6 5	7 6.8
行っていない	36 4.2	16 2.9	20 6.6	4 1.9	7 6.4	2 1.4	17 6.7	2 1.8	7 5.3	6 5	2 1.9

- 全体で見ると、「計画的に取組み効果も感じられた」が**43.9%**、「計画的に取り組んだがあまり効果的ではなかった」が**17.6%**、「あまり計画的には取り組めなかったが効果的だった」が**25.6%**、であり、**69.5%**の学校で効果的であったと答えている。
- **2019年度と比較すると**、「計画的に取り組んだがあまり効果的ではなかった」が**3.4%**低くなり、「あまり計画的に取り組めなかったが効果的だった」が**7.6%**高くなっている。
- 校種別で比較すると、あまり変わらないが、「行っていない」学校の割合が、中学校の方が**3.7%**高い。
- 学校規模別では、「**701人以上の学校**」の方が「**200人以下の学校**」に比べて「計画的に取り組んだがあまり効果的ではなかった」が**7.5%**、「計画的に取り組めなかったし効果も感じられなかった」が**9.4%**高くなっている。
- 地域別では、「計画的に取組み効果も感じられた」で比較すると、北海道・東北が**51.7%**、北陸・中部が**50.5%**と、半分以上の学校が評価している。

(4) 年間指導計画の見直し (表16)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	700人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
4回以上見直した	33 3.9	14 2.5	19 6.3	8 3.8	3 2.7	5 3.4	11 4.4	3 2.7	8 6.1	4 3.3	2 1.9
3回見直した	302 35.3	207 37.6	95 31.3	70 32.9	48 43.6	55 37.4	88 34.9	31 28.2	47 35.6	42 35	42 40.8
2回見直した	173 20.2	110 20	63 20.7	35 16.4	23 20.9	30 20.4	50 19.8	27 24.5	22 16.7	28 23.3	18 17.5
1回見直した	166 19.4	117 21.2	49 16.1	48 22.5	20 18.2	22 15	60 23.8	16 14.5	25 18.9	25 20.8	20 19.4
見直さなかった	181 21.2	103 18.7	78 25.7	52 24.4	16 14.5	35 23.8	43 17.1	33 30	30 22.7	21 17.5	21 20.4

- ・全体で見ると、「4回以上見直した」が3.9%、「3回見直した」35.3%、「2回見直した」20.2%、「1回見直した」が19.4%で、78.8%の学校で見直しが行われている。
- ・2019年度調査と比較すると、「3回以上見直した」が33.2ポイント、「2回見直した」が7.2ポイント増えている。
- ・校種別では、「4回以上見直した」が中学校が3.8ポイント高いが、「見直さなかった」は中学校が7ポイント高くなっている。
- ・学校規模別では、200人以下の学校と比べて、700人以上の学校が、「3回見直した」学校の割合が10.7ポイント、「2回見直した」が4.5ポイント高くなっており、「見直さなかった」学校の割合は9.9ポイント低くなっている。
- ・地域別では、「見直さなかった」学校の割合は、関東・甲信越が17.1%、中国・四国が17.5%と低くなっている。

(5) コロナ禍の中、道徳の授業に関する学校体制は機能したか (表17)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
機能したと思う	227 26.6	132 24.1	95 31.1	58 27.2	31 28.2	46 31.5	65 25.8	26 23.6	30 22.6	34 28.3	31 30.4
だいたい機能したと思う	484 56.7	319 58.1	165 54.1	126 59.2	57 51.8	85 58.2	140 55.6	60 54.5	75 56.4	69 57.5	57 55.9
あまり機能しなかったと思う	98 11.5	67 12.2	31 10.2	21 9.9	15 13.6	10 6.8	34 13.5	16 14.5	22 16.5	11 9.2	6 5.9
来年度見直したい	34 4	23 4.2	11 3.6	8 3.8	4 3.6	2 1.4	10 4	6 5.5	5 3.8	5 4.2	6 5.9
体制ができていない	11 1.3	8 1.5	3 1	- -	3 2.7	3 2.1	3 1.2	2 1.8	1 0.8	1 0.8	2 2

- 全体で見ると、「機能したと思う」が26.6%、「だいたい機能したと思う」が56.7%で、83.3%の学校において、肯定的である。
- 2019年度調査と比較すると、ほとんど変わっていない。
- 校種別で見ると、「機能したと思う」学校の割合が、中学校の方が6.1%高くなっている。
- 学校規模別では、「701人以上の学校」が「200人以下の学校」に比べて、「あまり機能しなかったと思う」と答えた学校の割合が、3.7%高くなっている。
- 地域別では、「機能したと思う」で比較すると、北海道・東北が31.5%、九州・沖縄が30.4%と高くなっている。

V. 「特別の教科 道徳」の授業について (表18)

(1) 今年度の道徳の授業を見て昨年度と比較してどのように感じたか (表18)

	回答														
	かなりよくなっていると感じる			少しよくなっていると感じる			ほとんど変わっていないと感じる			少し悪くなっていると感じる			かなり悪くなっていると感じる		
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1. 低学年の道徳授業 (中学校では1年)	86	47	39	334	202	132	425	296	129	9	5	4	-	-	-
	10.1	8.5	12.8	39.1	36.7	43.4	49.8	53.8	42.4	1.1	0.9	1.3	-	-	-
2. 中学年の道徳授業 (中学校では2年)	89	48	41	329	198	131	427	299	128	8	4	4	-	-	-
	10.4	8.7	13.5	38.6	36.1	43.1	50.1	54.5	42.1	0.9	0.7	1.3	-	-	-
3. 高学年の道徳授業 (中学校では3年)	91	52	39	310	189	121	441	304	137	12	4	8	-	-	-
	10.7	9.5	12.8	36.3	34.4	39.7	51.6	55.4	44.9	1.4	0.7	2.6	-	-	-
4. 事前の指導の工夫	50	29	21	279	169	110	520	350	170	4	1	3	-	-	-
	5.9	5.3	6.9	32.7	30.8	36.2	61	63.8	55.9	0.5	0.2	1	-	-	-
5. 導入の工夫	83	51	32	354	215	139	414	282	132	2	1	1	-	-	-
	9.7	9.3	10.5	41.5	39.2	45.7	48.5	51.4	43.4	0.2	0.2	0.3	-	-	-
6. 教材提示の工夫	92	56	36	357	216	141	401	277	124	3	-	3	-	-	-
	10.8	10.2	11.8	41.9	39.3	46.4	47	50.5	40.8	0.4	-	1	-	-	-
7. 展開の工夫	82	50	32	352	215	137	407	278	129	12	6	6	-	-	-
	9.6	9.1	10.5	41.3	39.2	45.1	47.7	50.6	42.4	1.4	1.1	2	-	-	-
8. 終末の工夫	73	44	29	321	203	118	454	299	155	5	3	2	-	-	-
	8.6	8	9.5	37.6	37	38.8	53.2	54.5	51	0.6	0.5	0.7	-	-	-
9. 教材の多様性	53	30	23	298	176	122	483	331	152	17	11	6	1	1	-
	6.2	5.5	7.6	35	32.1	40.3	56.7	60.3	50.2	2	2	2	0.1	0.2	-
10. 事後の指導の工夫	48	32	16	244	151	93	553	363	190	8	3	5	-	-	-
	5.6	5.8	5.3	28.6	27.5	30.6	64.8	66.1	62.5	0.9	0.5	1.6	-	-	-
11. 板書の工夫	75	52	23	309	201	108	464	294	170	5	2	3	-	-	-
	8.8	9.5	7.6	36.2	36.6	35.5	54.4	53.6	55.9	0.6	0.4	1	-	-	-
12. 子どもたちへの対応	80	55	25	370	229	141	396	259	137	7	6	1	-	-	-
	9.4	10	8.2	43.4	41.7	46.4	46.4	47.2	45.1	0.8	1.1	0.3	-	-	-
13. 授業の評価	70	39	31	331	203	128	438	298	140	7	3	4	-	-	-
	8.3	7.2	10.2	39.1	37.4	42.2	51.8	54.9	46.2	0.8	0.6	1.3	-	-	-

- 今年度コロナ禍の中で行われている道徳の授業は、全体的にみて昨年度と比べてどのように感じるかを尋ねた。
- 項目の1, 2, 3は小学校と中学校で対象が異なるので校種別でみると、中学校の方が「かなりよくなっている」とした学校の割合が高くなっている。
- 他の項目でみると、「ほとんど変わっていない」とした学校の割合が高いのは、「事後の学習の工夫」が64.8%、「事前の学習の工夫」が61%になっている。逆に少ないのは「子どもたちへの対応」で46.4%になっている。
- 校種別でみると「板書の工夫」以外のすべてにわたり、中学校の方が小学校よりも10~2割低くなっている。つまり中学校の方が授業改善に取り組んでいるということになる。
- 2019年度調査と比較すると、全ての項目にわたって「ほとんど変わっていない」が30~2割高くなっている。
- 全体的には授業改善はあまり進められなかったととらえることができる。

(2) 今年度の道徳の授業を見て効果を感じた授業の方法 (表19)

	回答														
	効果を感じている			まあまあ効果を感じる			あまり効果を感じない			ほとんど効果を感じない			行っていない		
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1. 登場人物への自我関与が中心の授業	132 15.5	99 18.1	33 10.8	552 64.8	353 64.5	199 65.2	163 19.1	94 17.2	69 22.6	2 0.2	-	2 0.7	3 0.4	1 0.2	2 0.7
2. 問題解決的な授業	167 19.6	116 21.2	51 16.7	512 60.2	318 58.2	194 63.6	153 18	102 18.7	51 16.7	10 1.2	5 0.9	5 1.6	9 1.1	5 0.9	4 1.3
3. 道徳的行為に関する体験的な授業	124 14.6	89 16.3	35 11.5	435 51.2	281 51.6	154 50.5	191 22.5	118 21.7	73 23.9	23 2.7	16 2.9	7 2.3	77 9.1	41 7.5	36 11.8
4. 各教科との関連を重視した授業	59 6.9	47 8.6	12 3.9	433 50.9	299 54.9	134 43.9	290 34.1	166 30.5	124 40.7	27 3.2	13 2.4	14 4.6	41 4.8	20 3.7	21 6.9
5. 学級活動との関連を重視した授業	131 15.4	94 17.2	37 12.1	507 59.6	318 58.3	189 62	185 21.8	120 22	65 21.3	7 0.8	3 0.6	4 1.3	20 2.4	10 1.8	10 3.3
6. 学校行事との関連を重視した授業	133 15.6	86 15.8	47 15.5	460 54.1	278 50.9	182 59.9	191 22.5	137 25.1	54 17.8	28 3.3	23 4.2	5 1.6	38 4.5	22 4	16 5.3
7. 総合的な学習の時間との関連を重視した授業	89 10.5	64 11.8	25 8.2	440 51.9	285 52.5	155 50.8	262 30.9	161 29.7	101 33.1	20 2.4	14 2.6	6 2	37 4.4	19 3.5	18 5.9
8. 学級経営との関連を重視した授業	166 19.5	128 23.4	38 12.5	500 58.7	319 58.3	181 59.3	164 19.2	90 16.5	74 24.3	9 1.1	5 0.9	4 1.3	13 1.5	5 0.9	8 2.6
9. 日常生活との関連を重視した授業	222 26.2	163 30	59 19.5	497 58.7	305 56.1	192 63.4	119 14	72 13.2	47 15.5	3 0.4	2 0.4	1 0.3	6 0.7	2 0.4	4 1.3

- ・「効果を感じている」を全体で見ると、「日常生活との関連を重視した授業」が**26.2%**、「問題解決的な授業」が**19.6%**、「学級経営との関連を重視した授業」**19.5%**となっている。
- ・2019年度調査と比較すると、「効果を感じている」は全部の項目において低くなっている。小学校と中学校の差もほとんどの項目で広がっている。
- ・校種別で見ると、**全てにわたって小学校の方が、中学校に比べて10～4割ほど高くなっている**。「あまり効果を感じない」で比較すると、「各教科との関連を重視した授業」が**10.2割**、「学級経営との関連を重視した授業」が**7.7割**高くなっている。

(3) 独自に持たせた道徳ノートや道徳ファイルは有効であったか (表20)

	回答														
	たいへん効果的であった			ある程度効果的であった			少しは効果的であった			改善を必要とする			持たせていない		
	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校
1. 道徳ノート	147 17.4	100 18.3	47 15.7	308 36.4	212 38.8	96 32.1	98 11.6	59 10.8	39 13	18 2.1	12 2.2	6 2	274 32.4	163 29.9	111 37.1
2. 道徳ファイル	98 11.6	64 11.8	34 11.2	310 36.6	189 34.7	121 39.9	126 14.9	65 11.9	61 20.1	21 2.5	14 2.6	7 2.3	292 34.5	212 39	80 26.4
3. 道徳教育の重点的指導用のノートかファイル (冊子も含む)	40 4.8	25 4.6	15 5.1	141 16.9	95 17.6	46 15.6	95 11.4	59 10.9	36 12.2	13 1.6	9 1.7	4 1.4	544 65.3	351 65.1	193 65.6

- ・独自の道徳ノートを「持たせていない」学校の割合が、全体で**32.4%**、学校種別で比較すると、**小学校が29.9%**で中学校に比べて**7.2ポイント**低い。
- ・「**大変効果的であった**」は全体で**17.4%**、「**ある程度効果的であった**」は**36.4%**で、小学校、中学校共に肯定的回答が**50%**を超えている（使用した学校のみで比率を出すと**80%**近くになる）。
- ・道徳ファイルは「持たせていない」学校の比率が**全体で34.5%**、学校種で比較すると**小学校が39%**で中学校より**12.6ポイント**高くなっており、道徳ノートと逆である。
- ・「**大変効果的であった**」が全体で**11.6%**、「**ある程度効果的であった**」が**36.6%**で、ここでも小学校、中学校共に肯定的回答が**50%**近くになっている（使用した学校のみで比率を出すとここでも**80%**近くになる）。
- ・**2019年度調査**と比較すると、独自の道徳ノートもファイルも同じような傾向を示している。
- ・道徳教育の重点的指導用のノートかファイル（冊子も含む）については、「持たせていない」学校が**全体で65.3%**、小学校、中学校共に変わらない。使用した学校では**9割以上**の学校において肯定的回答をしている。なお、**2019年度調査**と比較すると「持たせていない」学校の比率が**6.7ポイント**低くなっている。

(4) 今年度の「特別の教科 道徳」の評価がどのようになされたか (表21)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道 ・東北	関東 ・甲信越	北陸 ・中部	近畿	中国 ・四国	九州 ・沖縄
各学期ごとに行った	341 40.1	241 44	100 33.1	86 41	31 28.2	51 34.9	125 49.8	32 29.1	46 34.8	38 31.7	55 55
年度末にまとめて行った	442 52	256 46.7	186 61.6	111 52.9	67 60.9	87 59.6	109 43.4	67 60.9	68 51.5	74 61.7	41 41
その他	67 7.9	51 9.3	16 5.3	13 6.2	12 10.9	8 5.5	17 6.8	11 10	18 13.6	8 6.7	4 4

- ・「各学期ごとに行った」が、全体で40.1%、「年度末に行った」が52%である。
- ・校種別では、「各学期ごとに行った」は小学校が44%、中学校が33.1%で10.9ポイント低くなっている。
- ・学校規模別では、「各学期ごとに行った」が、701人以上の学校が28.2%で、200人以下の学校に比べて12.8ポイント低くなっている。
- ・地域別では、「各学期ごとに行った」が、九州・沖縄が55%。関東甲信越が49.8%となっている。北陸・中部が29.1%と低くなっている。
- ・2019年度調査と「各学期ごとに行った」を比較すると、全体はあまり変化はないが、地域別で見ると、九州・沖縄が16ポイント高くなっており、近畿は12.2ポイント、関東甲信越は9.2ポイント低くなっている。

(5) 今年度、道徳の授業の研修をどの程度行ったか (表22)

	全 体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
行っていない	324 37.9	198 36	126 41.4	75 35.2	44 40	55 37.7	101 39.9	43 39.1	57 42.9	39 32.8	31 30.4
1～3回行った	458 53.6	308 56	150 49.3	120 56.3	55 50	78 53.4	129 51	63 57.3	70 52.6	67 56.3	57 55.9
4～6回行った	43 5	23 4.2	20 6.6	13 6.1	7 6.4	5 3.4	14 5.5	4 3.6	2 1.5	8 6.7	11 10.8
7回以上行った	29 3.4	21 3.8	8 2.6	5 2.3	4 3.6	8 5.5	9 3.6	- -	4 3	5 4.2	3 2.9

- ・全体で見ると、「行っていない」学校の割合が37.9%、校種別で見ると中学校が41.4%、小学校が36%で、小学校に比べて15.4%高くなっている。学校規模別では、701人以上の学校が40%で、200人以下の学校の35.2%に比べて4.8%高い。地域別では近畿が42.9%、関東・甲信越が39.9%、北陸・中部が39.1%になっている。
- ・「4回以上行った」学校の割合を見てみると、小学校より中学校が多いし、学校規模ではほとんど変わらない。地方別では、関東・甲信越が23%、九州・沖縄が14%、北海道・東北と中国・四国が13%になっている。
- ・2019年度調査と比較すると、「行っていない」学校の割合が、19.9%増えている。

(6) 学年や学年段階で集まっての道徳授業の話し合いを行った程度 (表23)

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
よく行われている	140 16.5	68 12.5	72 23.7	34 16.1	16 14.7	25 17.1	38 15.1	18 16.5	22 16.5	24 20.7	16 15.7
ときどき行われている	413 48.7	248 45.6	165 54.3	84 39.8	58 53.2	64 43.8	121 48.2	52 47.7	67 50.4	60 51.7	52 51
あまり行われていない	195 23	152 27.9	43 14.1	64 30.3	24 22	36 24.7	60 23.9	23 21.1	32 24.1	24 20.7	21 20.6
ほとんど行われていない	100 11.8	76 14	24 7.9	29 13.7	11 10.1	21 14.4	32 12.7	16 14.7	12 9	8 6.9	13 12.7

- ・全体で見ると、「よく行われている」が16.5%、「ときどき行われている」が48.7%で足すと65.2%になる。
- ・2019年度調査と比較すると、あまり大きな変化はない。
- ・校種別で比較すると「よく行われている」が、中学校が23.7%で、小学校は12.5%で、11.2%高い。「ときどき行われている」でも8.7%高くなっている。
- ・学校規模別では、「ときどき行われている」において、701人以上の学校が200人以下の学校に比べて13.4%高くなっている。
- ・地方別では、「よく行われている」は中国・四国が20.7%「ときどき行われている」が51.7%で、最も高くなっている。

VI. 回答者から見た自校の実態

(1) 教師の実態 (表24)

	回答											
	そう思う			だいたいそう思う			あまり思わない			ほとんど思わない		
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1. 道德教育に熱心な教師が多い	146	105	41	514	334	180	178	102	76	17	10	7
	17.1	19.1	13.5	60.1	60.6	59.2	20.8	18.5	25	2	1.8	2.3
2. 道德の授業に熱心な教師が多い	133	89	44	511	344	167	190	105	85	20	12	8
	15.6	16.2	14.5	59.8	62.5	54.9	22.2	19.1	28	2.3	2.2	2.6
3. 道德教育は自分自身のことでもあると思っている教師が多い	117	84	33	477	314	163	241	139	102	17	12	5
	13.7	15.3	10.9	56	57.2	53.8	28.3	25.3	33.7	2	2.2	1.7
4. 道德の授業を楽しみにしている教師が多い	31	17	14	360	264	96	416	246	170	47	22	25
	3.6	3.1	4.6	42.2	48.1	31.5	48.7	44.8	55.7	5.5	4	8.2

- ・「**道德教育に熱心な教師が多い**」に対して「**そう思う**」と答えられた先生は**17.1%**、「**だいたいそう思う**」が**60.1%**である。校種別で比較すると、**小学校の先生の方が、「そう思う」と答えた割合が5.6%高い**。
- ・「**道德の授業に熱心な教師が多い**」に対しては、同じような傾向であるが、「**だいたいそう思う**」と回答された先生の割合は、**小学校の方が7.6%高い**。
- ・「**道德教育は自分自身のことでもあると思っている教師が多い**」では、「**そう思う**」が全体で**13.7%**、「**だいたいそう思う**」は**56%**である。校種別で比較すると**小学校の方が合計で8.8%高くなっている**。
- ・「**道德の授業を楽しみにしている教師が多い**」では、全体で「**そう思う**」が**3.6%**、「**だいたいそう思う**」が**42.2%**になっている。校種別で比較すると「**そう思う**」は**中学校の方が1.5%高い**が「**だいたいそう思う**」では**中学校が31.5%に対して小学校は48.1%**と、**16.6%の差がある**。
- ・2019年度調査と比較すると、**ほぼ同じ傾向にあるが、「道德の授業を楽しみにしている教師が多い」は、全体で**

(2) 家庭や地域の様子 (表25)

	回答											
	そう思う			だいたいそう思う			あまり思わない			ほとんど思わない		
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1. 道徳教育について熱心な保護者が多くなった	16	10	6	230	160	70	512	334	178	93	45	48
	1.9	1.8	2	27	29.1	23.2	60.2	60.8	58.9	10.9	8.2	15.9
2. 道徳教育について熱心な地域の人たちが多くなった	11	8	3	208	147	61	514	337	177	117	56	61
	1.3	1.5	1	24.5	26.8	20.2	60.5	61.5	58.6	13.8	10.2	20.2
3. 地域の人たちの協力が得られるようになった	37	31	6	282	211	71	399	241	158	132	65	67
	4.4	5.7	2	33.2	38.5	23.5	46.9	44	52.3	15.5	11.9	22.2
4. 保護者の協力が得られるようになった	38	30	8	330	237	93	379	233	146	103	48	55
	4.5	5.5	2.6	38.8	43.2	30.8	44.6	42.5	48.3	12.1	8.8	18.2

- ・「道徳教育について熱心な保護者が多くなった」は、全体で「そう思う」で1.6%、「だいたいそう思う」27%で、肯定的に答えた学校の割合は、28.6%である。
- ・「道徳教育に熱心な地域の人たちが多くなった」は、全体で「そう思う」が1.3%、「だいたいそう思う」24.5%で、肯定的に答えた学校の割合は25.8%である。
- ・「地域の人たちの協力が得られるようになった」は、全体で「そう思う」が4.4%、「だいたいそう思う」33.2%で肯定的に答えた学校の割合は37.6%である。
- ・「保護者の協力が得られるようになった」では、全体で「そう思う」が4.5%、「だいたいそう思う」38.8%で、肯定的に答えた学校の割合が43.3%である。
- ・校種別で見ると、全ての項目で、「ほとんど思わない」の割合が小学校の倍になっている。
- ・2019年度調査と比較すると、肯定的に答えた学校の割合が、全項目において4～6割高くなっている。

VII. 回答者から見た意識及び要望

(1) 道德教育の効果や捉え方に対する意見に対する共感度 (表26)

	回答														
	そうだという思いを強くした			だいぶんそう思えるようになった			少しそう思えるようになった			あまり思わない			ほとんど思わない		
	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校	全 体	小 学 校	中 学 校
1. 道德の授業を積み重ねていけば、子どもたちの道德性は高められる	297 34.8	199 36.2	98 32.2	352 41.2	232 42.2	120 39.5	165 19.3	100 18.2	65 21.4	37 4.3	17 3.1	20 6.6	3 0.4	2 0.4	1 0.3
2. 教師は、自分の生き方を子どもたちにもっと話すべきだ	198 23.2	123 22.3	75 24.7	321 37.5	208 37.7	113 37.2	215 25.1	141 25.6	74 24.3	108 12.6	70 12.7	38 12.5	13 1.5	9 1.6	4 1.3
3. 道德教育は、他律的な道德性の育成が根幹にあつて自律的な道德性がはぐくまれる	116 13.6	76 13.8	40 13.2	321 37.7	202 36.8	119 39.4	285 33.5	191 34.8	94 31.1	118 13.9	74 13.5	44 14.6	11 1.3	6 1.1	5 1.7
4. どのような子どもたちも、学校に来ればしっかりと成長できる	136 16	91 16.5	45 15	305 35.8	211 38.4	94 31.2	230 27	142 25.8	88 29.2	164 19.3	97 17.6	67 22.3	16 1.9	9 1.6	7 2.3
5. 学力の育成は、道德教育を充実させることで高められる	124 14.6	84 15.3	40 13.2	278 32.6	185 33.6	93 30.8	278 32.6	179 32.5	99 32.8	156 18.3	94 17.1	62 20.5	16 1.9	8 1.5	8 2.6
6. 体力の育成は、道德教育を充実させることで高められる	56 6.6	38 6.9	18 5.9	194 22.7	132 24	62 20.5	292 34.2	196 35.6	96 31.7	270 31.7	161 29.3	109 36	41 4.8	23 4.2	18 5.9
7. いじめなどの子どもたちの問題行動は、道德教育を充実させることである程度改善される	230 26.9	154 27.9	76 25.1	371 43.4	237 43	134 44.2	209 24.5	131 23.8	78 25.7	42 4.9	28 5.1	14 4.6	2 0.2	1 0.2	1 0.3
8. 道德教育を充実させることで、家庭との連携が深まる	104 12.2	78 14.2	26 8.6	278 32.7	184 33.5	94 31.2	282 33.2	190 34.6	92 30.6	168 19.8	87 15.8	81 26.9	18 2.1	10 1.8	8 2.7
9. 道德教育を充実させることで、地域との連携が深まる	93 10.9	70 12.8	23 7.6	255 30	169 30.8	86 28.6	280 32.9	191 34.8	89 29.6	188 22.1	100 18.2	88 29.2	34 4	19 3.5	15 5

- ・「あまり思わない」「ほとんど思わない」という否定的な回答をした学校の割合で見ると、一番低いのが「道德の授業を積み重ねていけば、子どもたちの道德性は高められる」で全体で4.7%、次が「いじめなどの子どもたちの問題行動は、道德教育を充実させることである程度改善される」で、全体で5.1%、一番高いのは「体力の育成は、道德教育を充実させることで高められる」で、全体で36.5%、次が「道德教育充実させることで、地域との連携が深まる」で、全体で26.1%である。これらの結果からここに挙げた全項目に対して道德教育の効果を感じていることがわかる。
- ・2019年度調査と比較すると、全ての項目において否定的な回答をした学校の割合が少し増えている。

(2) 道徳教育充実への要望 (表27)

	回答											
	よく思う			まあまあ思う			あまり思わない			ほとんど思わない		
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1. 道徳教育を充実させるための特別予算が欲しい	114	71	43	316	218	98	359	221	138	66	40	26
	13.3	12.9	14.1	37	39.6	32.1	42	40.2	45.2	7.7	7.3	8.5
2. 道徳教育の指定校を多くしてほしい	34	21	13	177	120	57	504	317	187	139	91	48
	4	3.8	4.3	20.7	21.9	18.7	59	57.7	61.3	16.3	16.6	15.7
3. 道徳の専門教師を加配してほしい	195	108	87	311	190	121	260	184	76	88	68	20
	22.8	19.6	28.6	36.4	34.5	39.8	30.4	33.5	25	10.3	12.4	6.6
4. 道徳教育研修の機会を多くしてほしい	139	86	53	496	317	179	173	113	60	44	32	12
	16.3	15.7	17.4	58.2	57.8	58.9	20.3	20.6	19.7	5.2	5.8	3.9
5. 文部科学省は、道徳教育の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい	208	121	87	405	267	138	201	136	65	40	26	14
	24.2	22	28.6	47.4	48.5	45.4	23.5	24.7	21.4	4.7	4.7	4.6
6. 文部科学省は、「特別の教科道徳」の授業の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい	226	131	95	410	274	136	181	121	60	37	24	13
	26.5	23.8	31.3	48	49.8	44.7	21.2	22	19.7	4.3	4.4	4.3

- ・「よく思う」と「まあまあ思う」の肯定的に答えた学校の割合で各項目を見ると、「文部科学省は、「特別の教科道徳」の授業の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい」74.5%、「道徳教育研修の機会を多くしてほしい」も同じく74.5%である。次が「文部科学省は、道徳教育の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい」が71.8%、「道徳の専門教師を加配してほしい」59.2%となっている。
- ・校種別で比較するとあまり差はないが、「道徳の専門教師を加配してほしい」は、肯定的に答えた学校の割合は、小学校が54.1%に対し、中学校は68.4%である。
- ・2019年度調査と比較すると、肯定的に答えた学校の割合は、全部の項目にわたって増えている。特に「道徳教育研修の機会を多くしてほしい」が6.5ポイント、「文部科学省は、道徳教育の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい」が4.8ポイント、「文部科学省は、「特別の教科道徳」の授業の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい」4.5ポイント高くなっている。

5 全体のまとめ

I. コロナ禍における道徳教育について

- 8割近くの学校において意識して取り組まれていた
- 今まで取り組んだ道徳教育の成果を85%の学校において感じている
- 休校中、「特別の教科道徳」の課題を示した学校は2割程度
- 学校再開後の補充は7割以上の学校で行っている
- 学校再開後は95%の学校において正常通りの道徳の授業が行われている
- 再開後の子どもたちの様子はほとんどの学校においてあまり変わらないか、話すことや集中が見られるようになった
- コロナ禍の中で9割以上の学校において道徳教育や「特別の教科 道徳」の大切さや重要性を感じている

II. 学校教育全体で取り組む道徳教育について

- 昨年度に比べて道徳教育が重視されている学校が9割以上
- 道徳教育に組織的に取り組んだ学校が9割以上であり6割以上の学校が機能したと捉えている
- 「特別の教科 道徳」の指導、各学年の道徳教育は95%の学校において、各学級の道徳教育は84%の学校において目標の達成をある程度感じている
- 全体計画の見直しは6割以上の学校において行っている

III. 「特別の教科 道徳」の年間指導計画について

- 年間指導計画の記述内容については7割以上の学校において変えていない
- コロナ禍に直接かかわる教材を4割の学校において取り入れている
- 重点的に指導した内容項目の効果を7割の学校において感じている
- 年間指導計画の見直しを8割近くの学校で行っている
- ほとんどの学校において道徳の授業を学校体制で取り組んでおり、8割以上の学校で機能したと感じている

V. 「特別の教科 道徳」の授業について

- ・昨年度に比べて、各学年において道徳授業がよくなっていると感じている学校と、変わっていないと感じている学校が半々である
- ・今年度効果を感じた道徳授業の方法として、「日常生活との関連を重視した授業」を25%の学校において、「問題解決的な授業」と「学級経営との関連を重視した授業」を20%の学校において挙げている
- ・独自の道徳ノートをもとに7割近くの学校において持たせており、ほとんどの学校で効果を感じている
- ・重点的指導用のノートやファイルを使用している学校は35%、使用するほとんどの学校で効果を感じている
- ・今年度の「特別の教科 道徳」の評価は「各学期ごとに行った」学校は4割、「年度末にまとめて行った」学校が5割であった
- ・今年度の道徳授業の研修は、6割以上の学校において行っており、だいたい1～3回程度である
- ・学年や学年段階で集まって道徳授業の話し合いを65%の学校において行っている

VI. 回答者から見た自校の実態

- ・「道徳の授業に熱心な教師が多い」に肯定的に答えた回答者は75%、「道徳教育は自分自身のことでもあ
ると思っている教師が多い」は7割近く、「道徳の授業を楽しみにしている教師が多い」は45%であった
- ・「地域の人たちの協力が得られるようになった」に肯定的に答えた回答者は4割弱、「保護者の協力が得られ
るようになった」は4割強であった。昨年度と比べて5%ほど高くなっている

VII. 回答者から見た意識及び要望

- ・「道徳の授業を重ねていけば子どもたちの道徳性は高められる」、「いじめなどの子どもたちの問題行動は、
道徳教育を充実させることである程度改善される」を肯定的に考える回答者は95%である
- ・道徳教育の充実に関する要望として、「文部科学省は、「特別の教科 道徳」の授業の進め方についてもう少し
詳しい資料を発行してほしい」、「道徳教育研修の機会を多くしてほしい」を75%の回答者が挙げている

コロナ禍(か)を生きる、きみへ

—新しい生き方と社会を創(つく)っていくのはきみたち一人一人—

コロナ禍の中、日々の生活はどうだろう
手洗い、うがい、マスク、3蜜をさける
授業や学校行事、クラブ活動などの制限
土曜、日曜、休日にも自由に行動できない
家庭でも特に祖父母と自由にかかわれない
すべてにおいて、日常生活が制限される

このようなことを、きみはどのように思
うだろう
いらいらするけどしかたがない
しんぼうするしかない
言われるままにしていよう
できるだけじっとしていよう
さみしいしむなしくなる

そのように思う「自分と今」を見つめてみよう
今のきみは受け身的になっていないか
どんな状態でも時間は確実に過ぎていく
かけがえのない一日一日
その一日一日をどう過ごすか
それがきみの未来を創っていくことはまちがいない

どうすればいいのか
それを考えるのがきみにとっての道徳教育なのだ
コロナ禍では自分には関係ないは許されない
まず自分はどうすればよいかを考えること
そしてみんなと仲よく楽しく過ごすにはどうすればいいのか
そのことを真剣に考え新しい自分と社会を創っていく

そう！ コロナ禍を生きるきみたち一人一人が
新しい生き方と新しい社会を創っていく主人公なのだ